

# 鳥取県 歯科保健データ (中部圏域)

令和6年2月

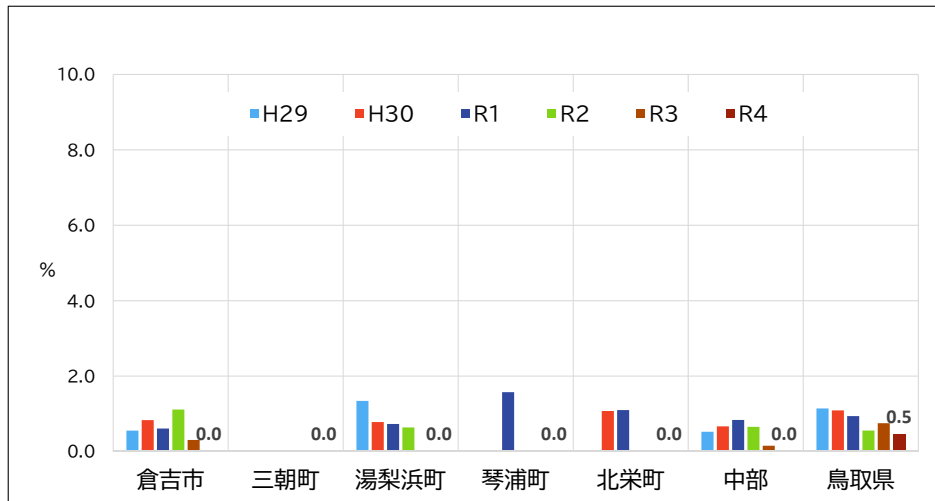
中部総合事務所 倉吉保健所 健康支援総務課

## 各種歯科保健データ

- 1歳6ヶ月児歯科健康診査 (市町村→保健所→健康政策課)
- 3歳児歯科健康診査 (市町村→保健所→健康政策課)
- 4歳児 (保育所・こども園・幼稚園) (県独自、市町村→保健所→健康政策課)
- 5歳児 (同上)
- 小学校 (学校保健統計調査、県教委、中部養護教諭部会)
- 中学校 (学校保健統計調査、県教委、中部養護教諭部会)
- 高等学校 (学校保健統計調査、県教委)
- 鳥取県妊婦歯科健診 (県独自、市町村→保健所→健康政策課)
- 歯周疾患検診事業 (健康増進法、市町村→保健所→健康政策課)
- 鳥取県県民歯科疾患実態調査 (県独自、健康政策課)

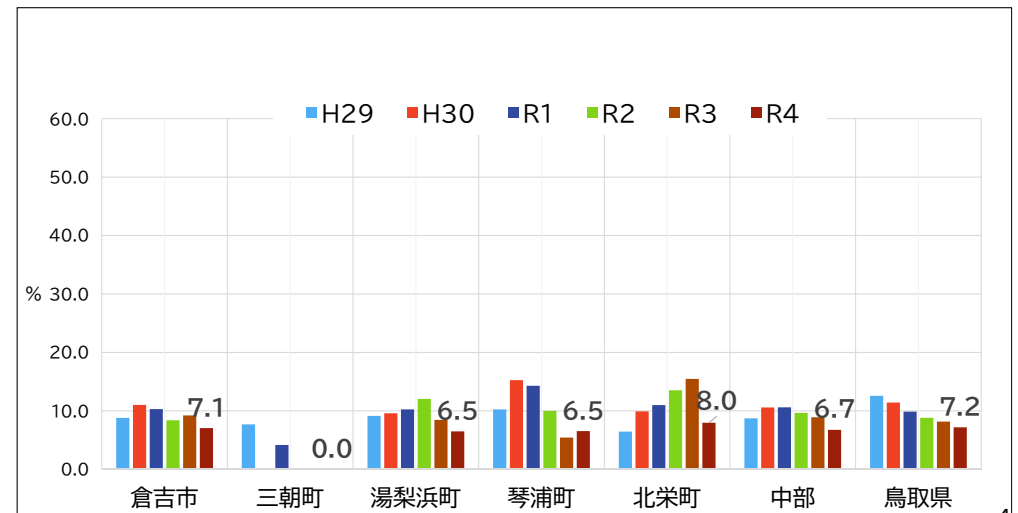
### 鳥取県中部 1歳6ヶ月児 う蝕罹患率 (H29~R4)

- う蝕罹患率は減少傾向にあり、R4は初めて中部圏域で0%を達成した。(R4は、すべての市町が0%を達成)
- う蝕罹患率は、市町によって差が見られる(地域差、健康格差)

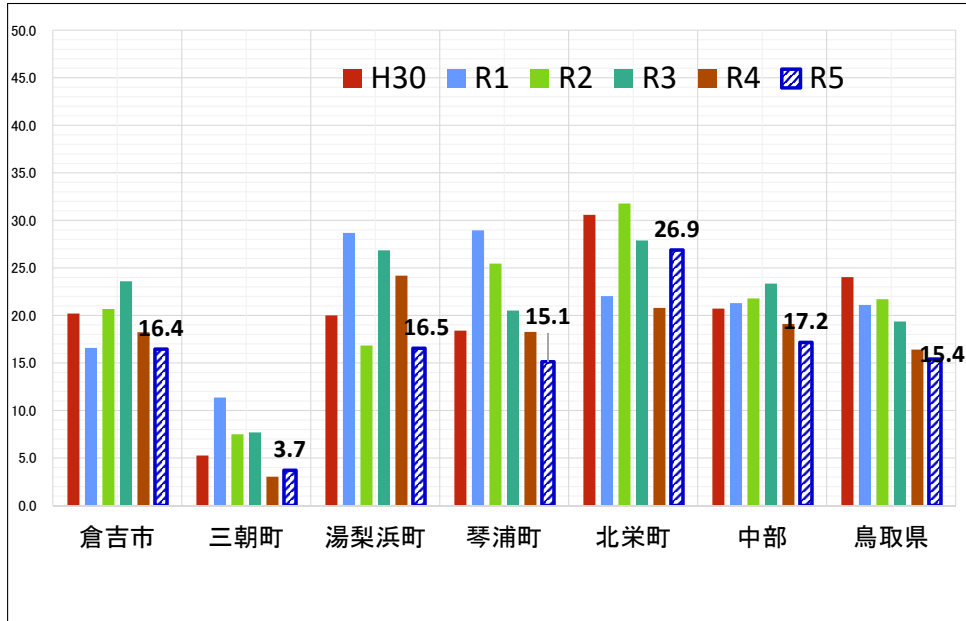


### 鳥取県中部 3歳児 う蝕罹患率 (H29~R4)

- う蝕罹患率は減少傾向にあるが、3歳での罹患率ゼロは達成できていない。(むし歯がない子が増加の一方で一定数の多数歯う蝕を持つ子が見られる)
- う蝕罹患率は、市町によって差が見られる(地域差)

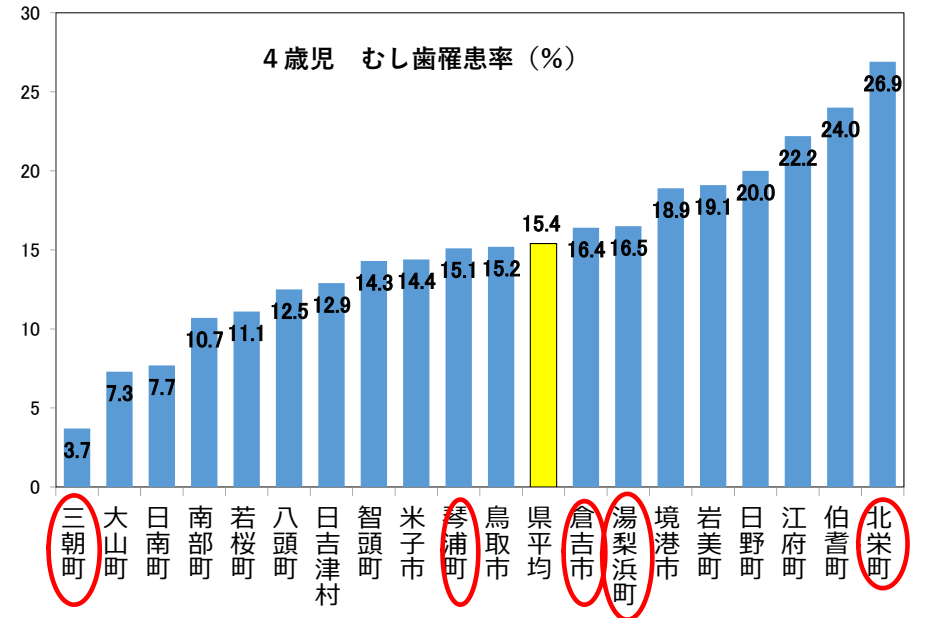


### 鳥取県中部 4歳児 う蝕罹患率 (H30~R5)



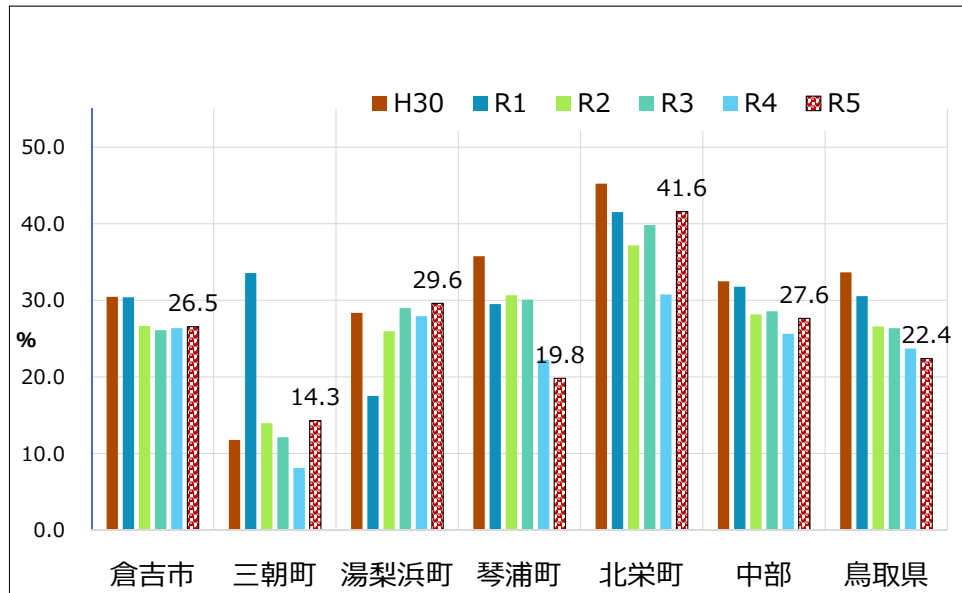
5

### 鳥取県中部 4歳児 う蝕罹患率 (R5)



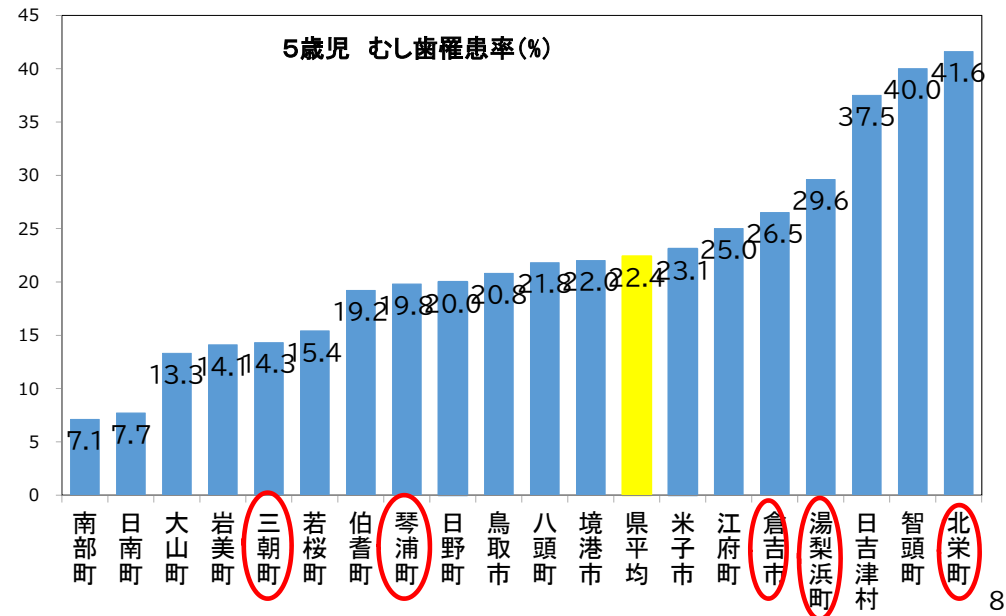
6

### 鳥取県中部 5歳児 う蝕罹患率 (H30~R5)



7

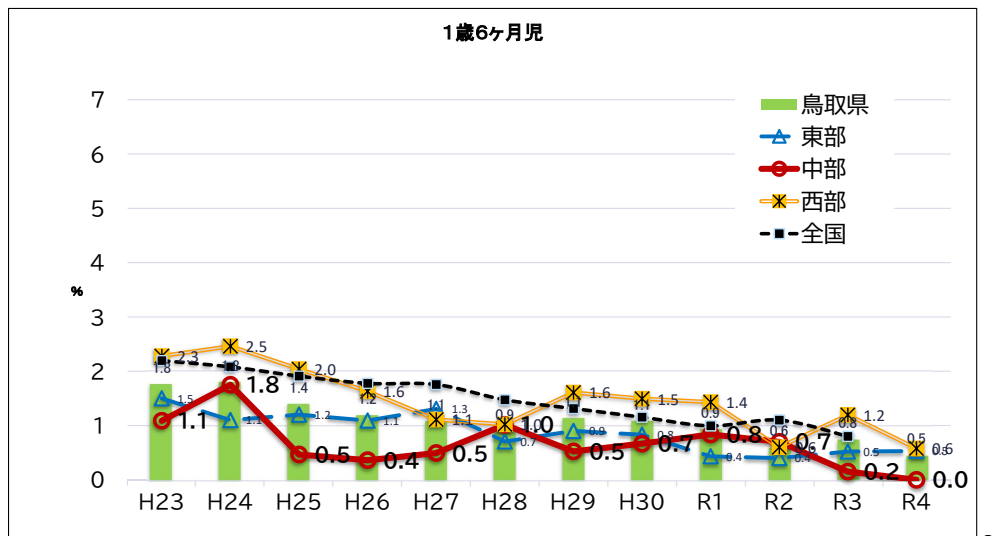
### 鳥取県中部 5歳児 う蝕罹患率 (R5)



8

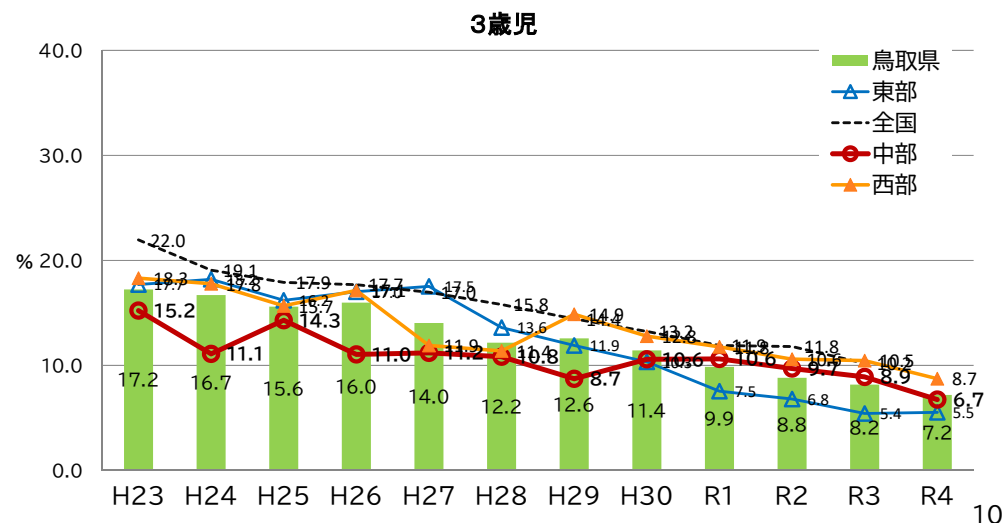
## 圏域別むし歯有病者率（1歳6ヶ月児）（H30～R4）

- 1歳6ヶ月児の中部圏域う蝕罹患率は、R4に0%を初めて達成！（3圏域の中で最もよい）



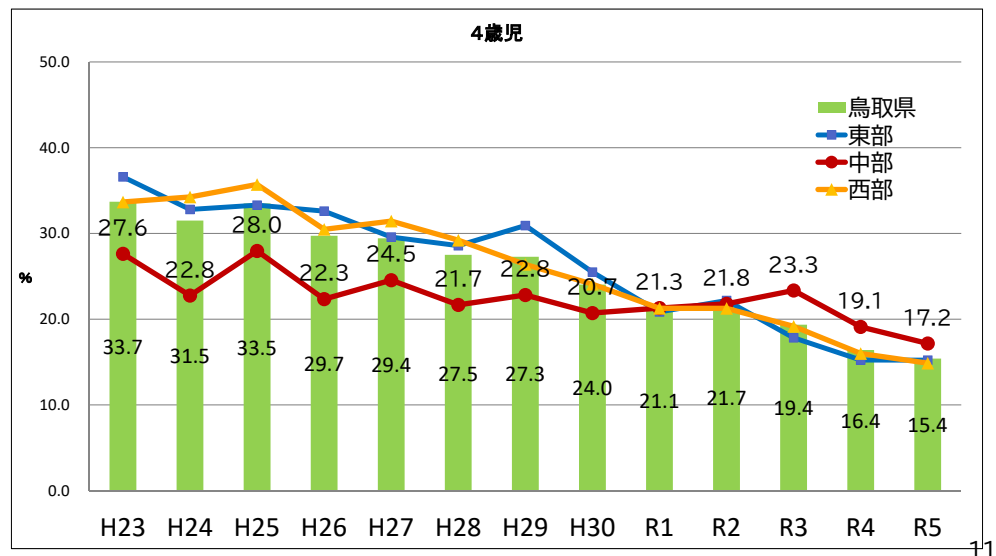
## 圏域別むし歯有病者率（3歳児）（H30～R4）

- 3歳児の中部圏域う蝕罹患率は、R1～3まで県平均より高めだったが、R4は県平均より低くなり改善（3圏域では真ん中の位置）



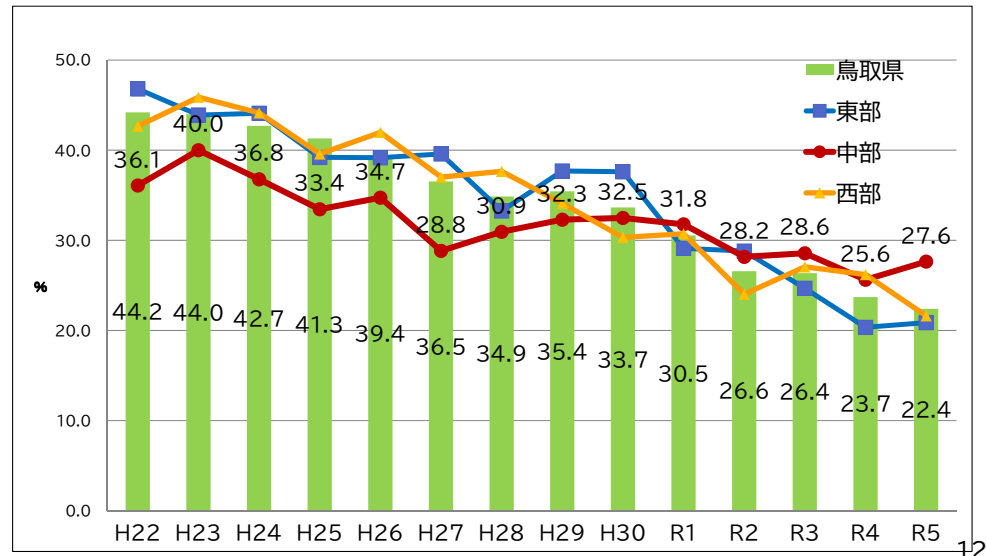
## 圏域別むし歯有病者率（4歳児）

- R2までは、横ばい、高止まり
- R4～R5は減少傾向だが、3圏域中で最も高い(悪い)



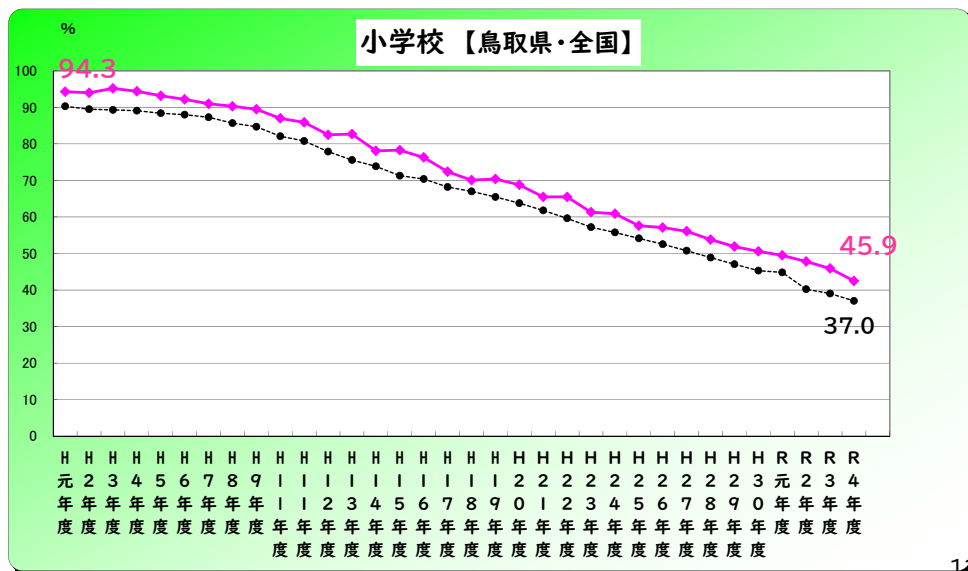
## 圏域別むし歯有病者率（5歳児）（H30～R4）

- 中部圏域はH29までは、3圏域の中で最も低かった(よい)
- R1以降、3圏域中で最も高い(悪い)



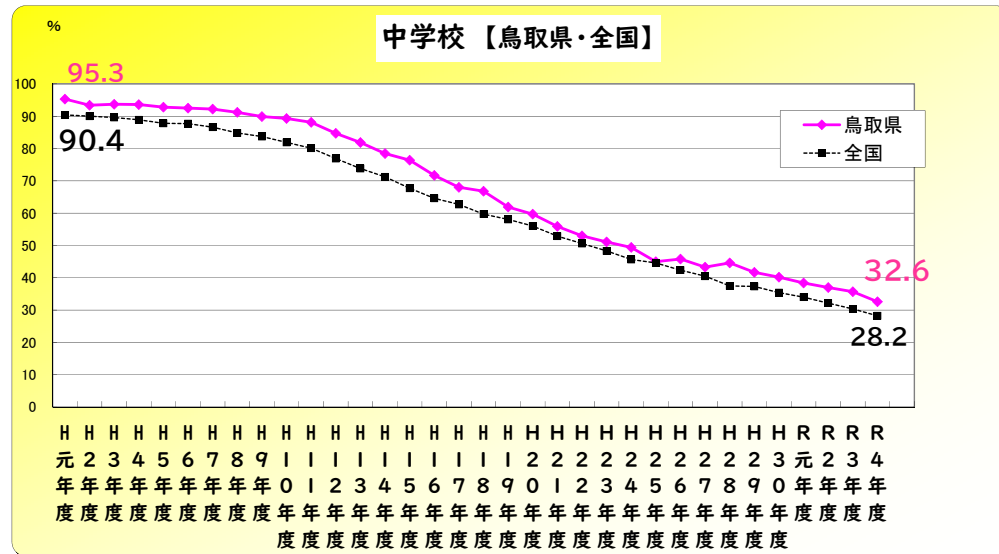
## 鳥取県小学校 う蝕罹患率の年次推移 (H1~R4)

- 小学生のむし歯は、H1から30数年の間に約1/2に減少  
(未処置歯のある者や1人で10本以上の未処置歯を持つ者がいる等、課題あり)



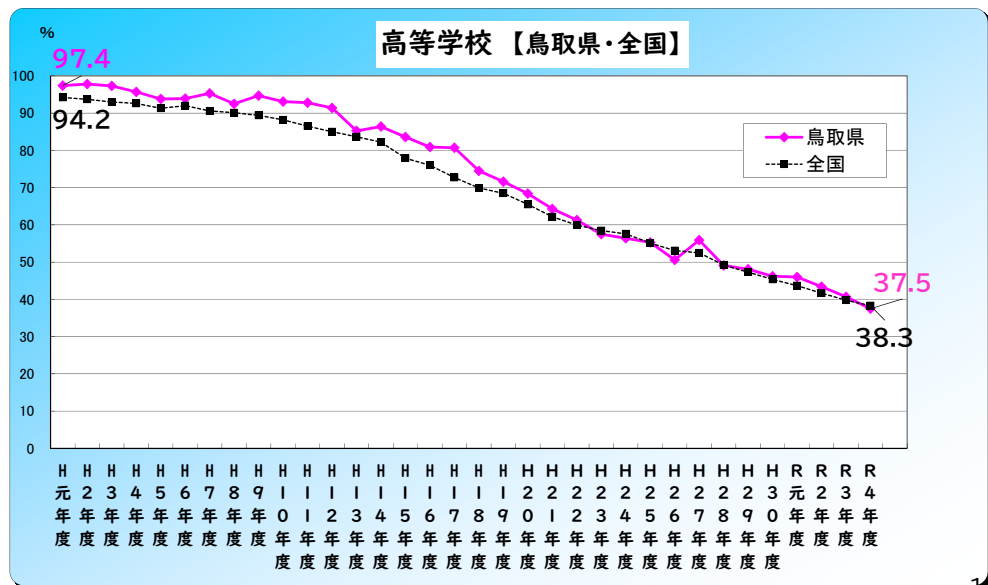
## 鳥取県中学校 う蝕罹患率の年次推移 (H1~R4)

- 中学生のむし歯は、H1から30数年の間に約1/3に減少  
(未処置歯のある者や1人で10本以上の未処置歯を持つ者がいる等、課題あり)



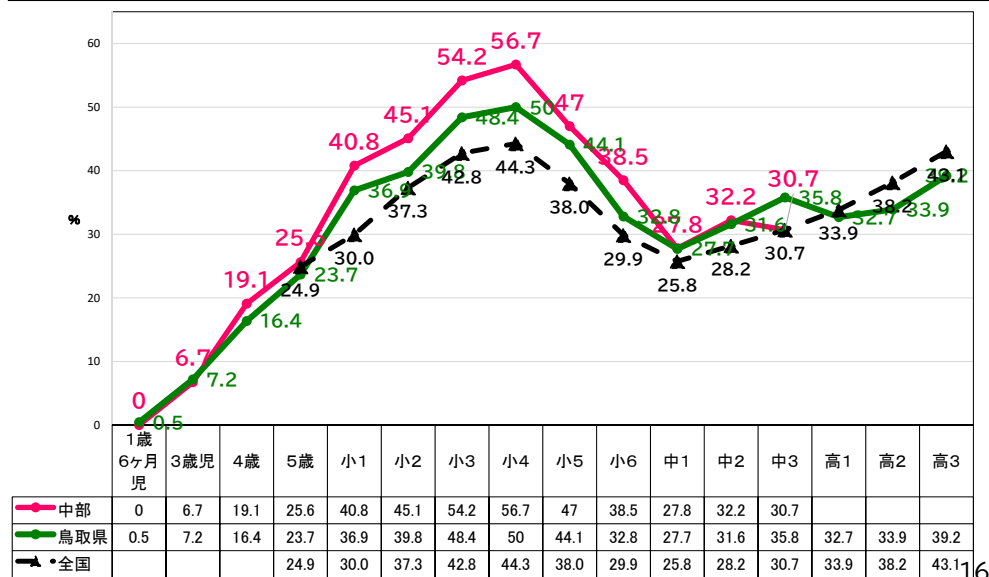
## 鳥取県高校 う蝕罹患率の年次推移 (H1~R4)

- 高校生のむし歯は、H1から30数年の間に約1/3に減少  
(未処置歯のある者や1人で10本以上の未処置歯を持つ者がいる等、課題あり)



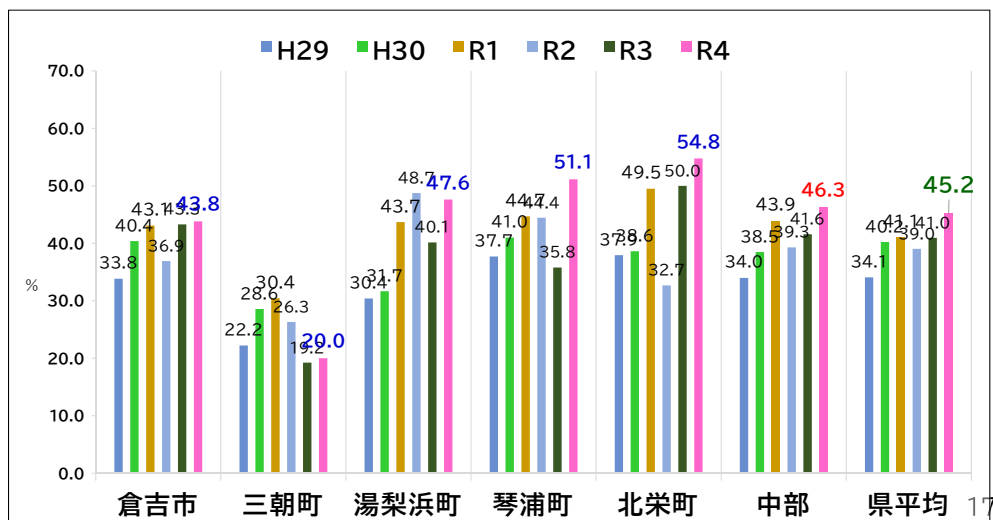
## 令和4年度 年齢別むし歯罹患率の推移 (幼児~高3)

- 子どものむし歯罹患率は改善しているが、年齢が上がるにつれ増加
- 3歳~5歳、5歳~小4で特に急増している。中部の罹患率が高い。



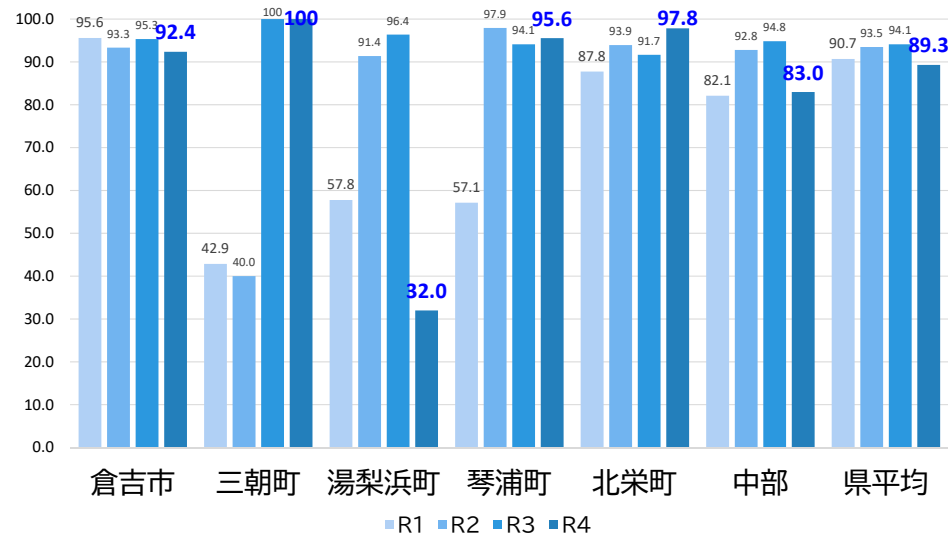
## 妊婦歯科健診 受診率 (H29~R4) (中部・県)

- ・中部の市町では、H23～先行的に開始(湯梨浜町、琴浦町、北栄町)
- ・H29に中部全市町で実施 (参考)R5,県内実施:16市町村
- ・R4年度の受診率は、中部46.3%で県平均45.2%より少し上回った。
- ・受診率が最も高いのは北栄町で、R3に初めて50%を超えた。



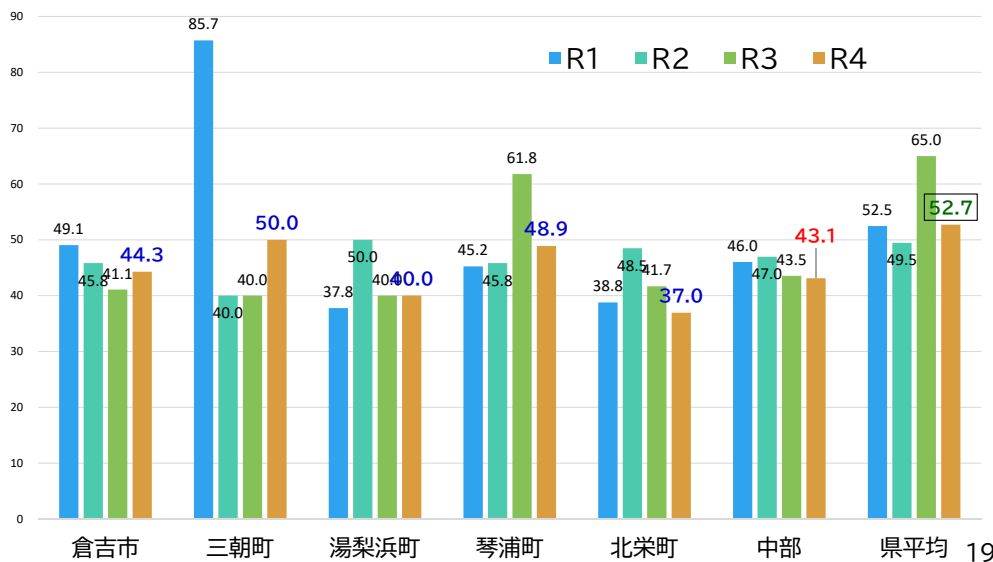
## 妊婦歯科健診 むし歯罹患率 (R1~R4)

- ・R4,中部圏域のむし歯罹患率は、83% 前年より改善(△11.8)
- ・R4,湯梨浜町は、32%と最も低い。



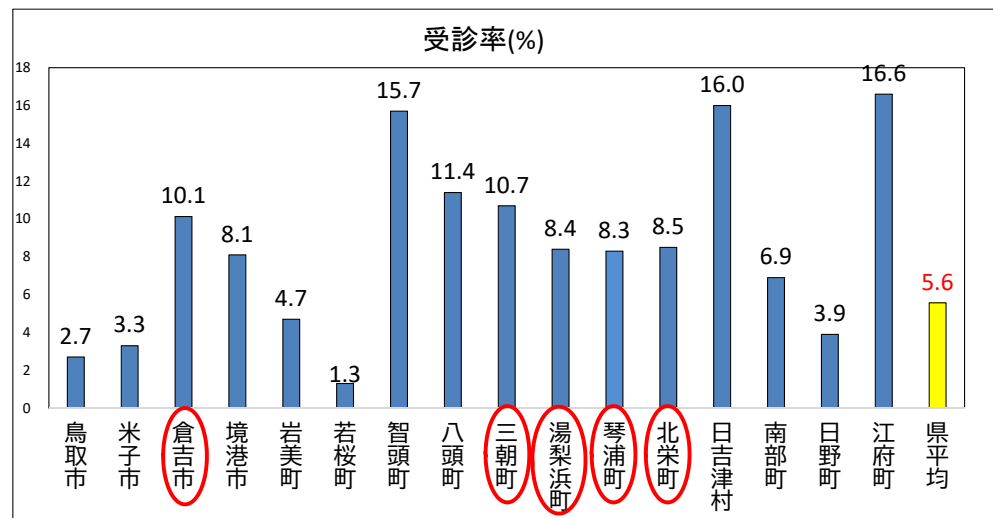
## 妊婦歯科健診 歯周病罹患率 (R1~R4)

- ・R4,中部圏域の歯周病罹患率は、43.1%
- ・R4,最も低い(よい)のは、北栄町(37.0%)



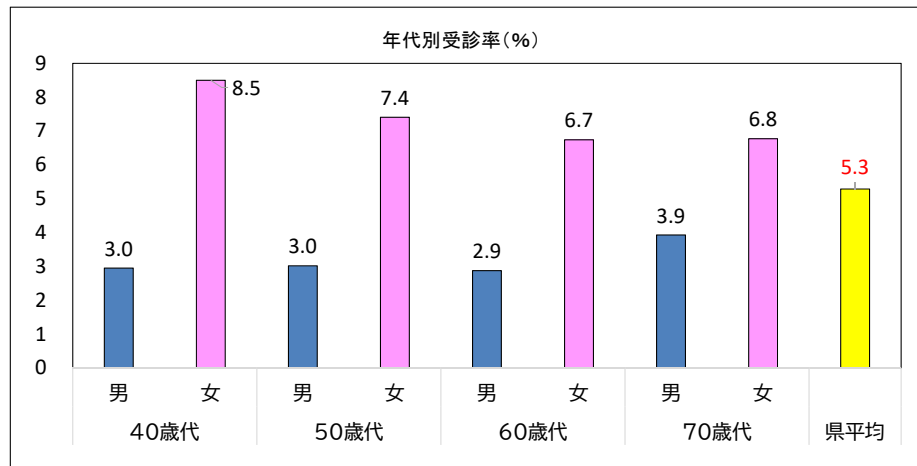
## 歯周疾患検診受診率 (R4)

- 受診率は、中部平均 10.1%で 県平均(5.6%)よりも少し高いが、全体的に低いのが課題
- 対象は、40・50・60・70歳の者 (実施主体:市町村)



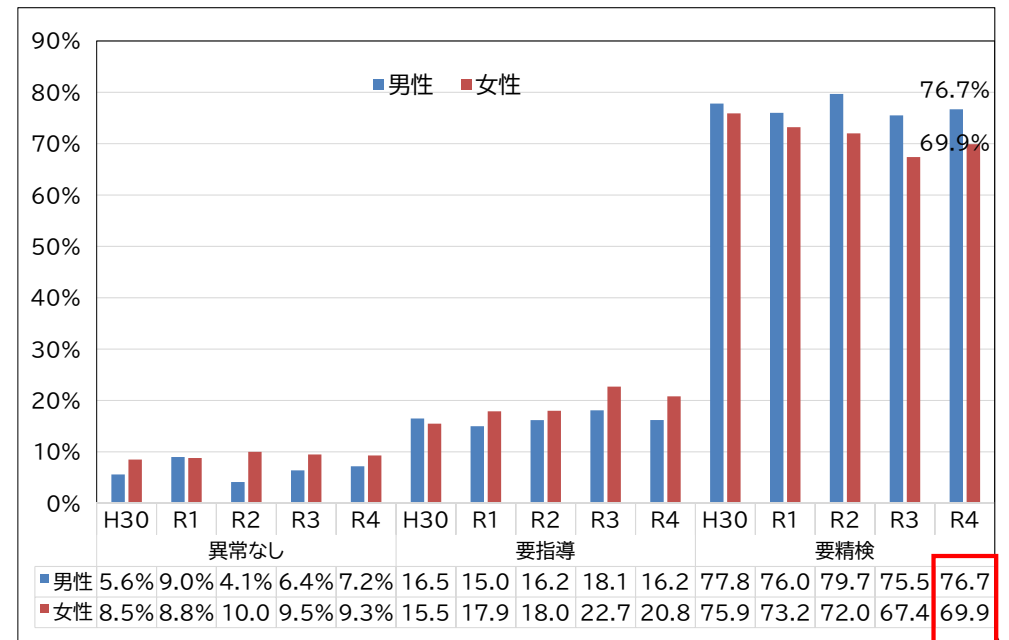
## 歯周疾患検診受診率 (R4)

- 年齢別の受診率は、40歳代女性が8.5%で最も高く、60歳代男性が2.9%で最も低かった。
- 性別で見ると、女性の方がどの年代とも高い傾向にある。



21

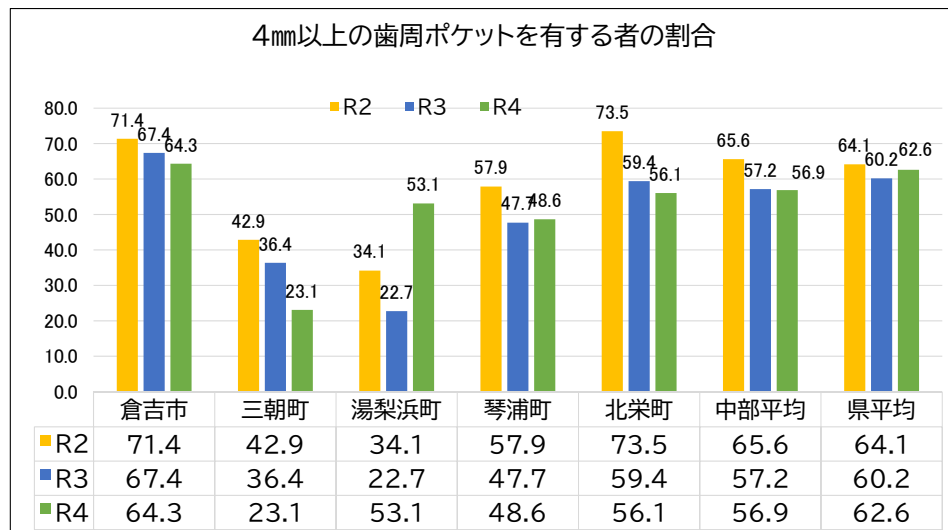
## 歯周疾患検診 判定結果 (H30~R4)



22

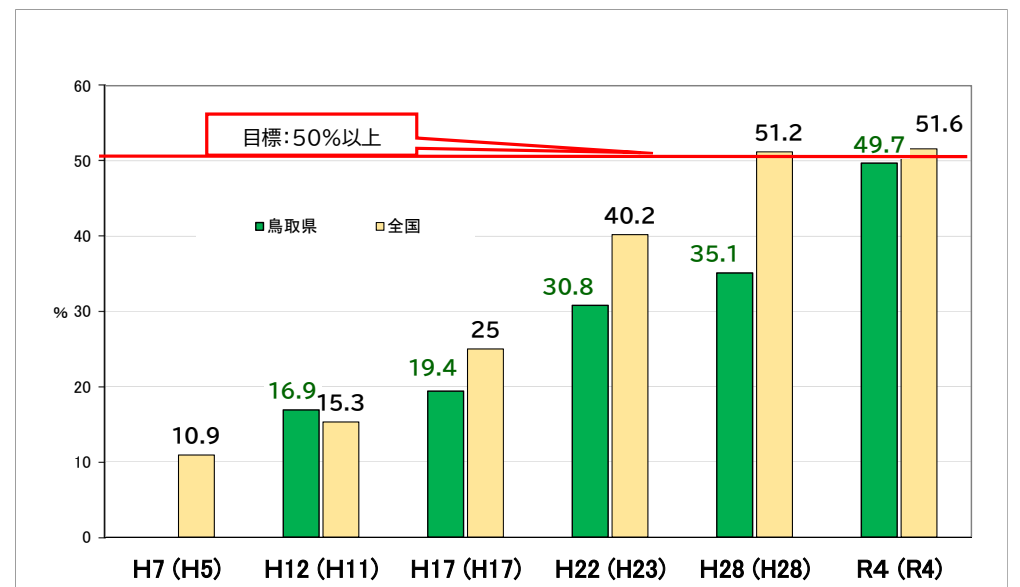
## 歯周疾患検診 歯周炎の割合 (R2~R4)

- 健康な歯肉は、歯周ポケット3mm以下
- 4mm以上になると歯周炎が始まり、軽度→中程度→重度と進行していく
- 地域間で差が見られる



23

## 8020達成者率の推移 (鳥取県/全国)

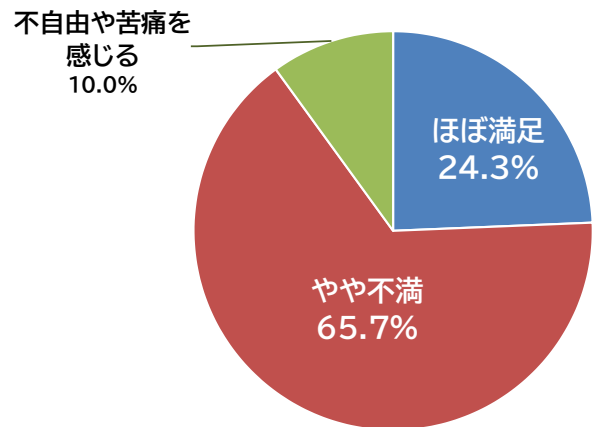


鳥取県 県民歯科疾患実態調査(R4)、(国)歯科疾患実態調査(厚生労働省,R4)

24

## 歯の満足度 (%)

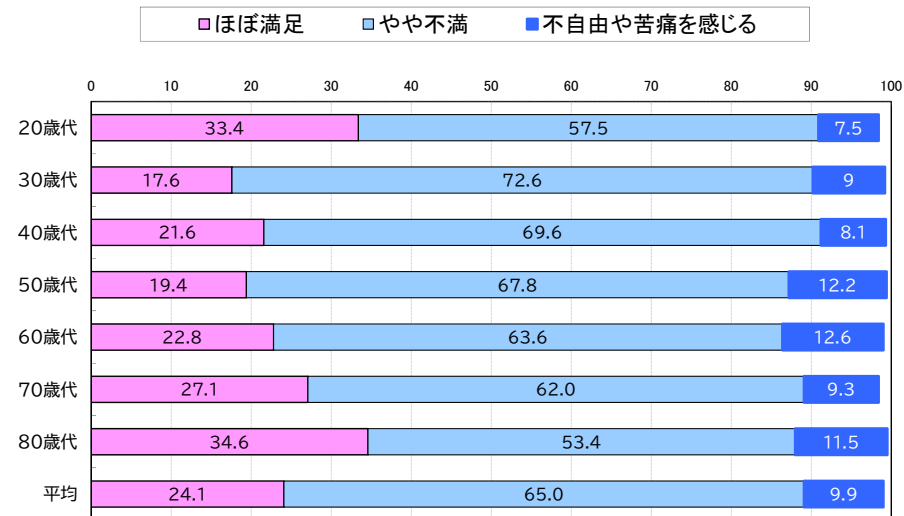
・約75%の方が不満・不自由を感じている。この比率は前回調査とほぼ同様であった（満足は4人に1人しかいない）



鳥取県 県民歯科疾患実態調査 (R4) 25

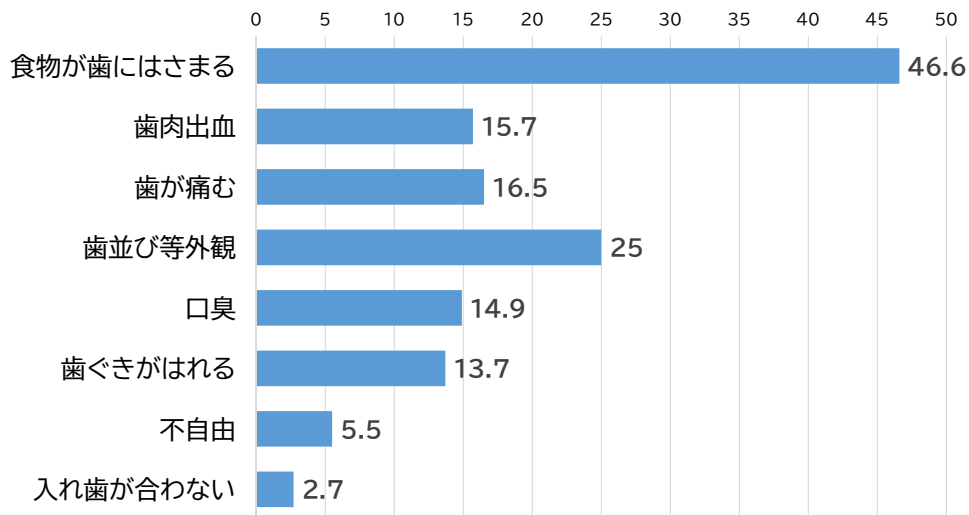
## 歯や口の状況 (満足度、年代別)

- ・20～30歳代では、歯並びや外観、歯が痛む、歯肉から血が出るの順
- ・30～40歳代以降に食べ物が歯に挟まるが急増(5～7割以上)
- ・60歳以降、歯ぐきがはれる、不自由が増加傾向



鳥取県 県民歯科疾患実態調査 (R4) 26

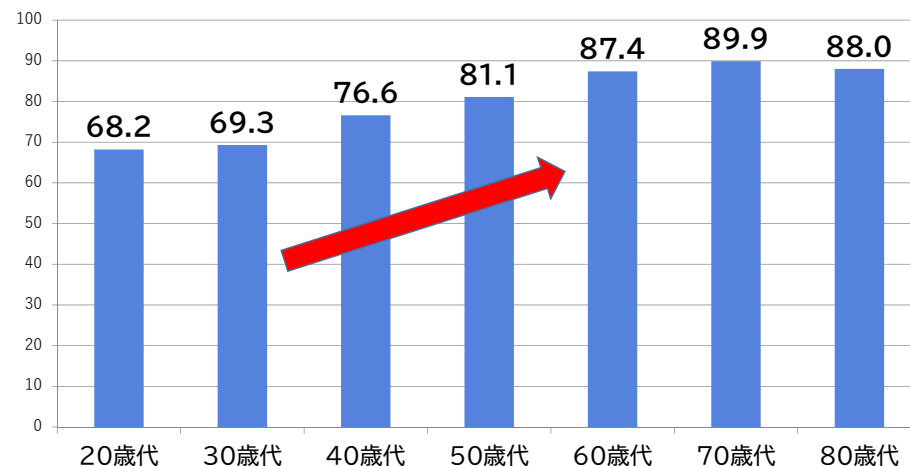
## R4 歯や歯肉の自覚症状 (%) 複数回答



鳥取県 県民歯科疾患実態調査 (R4) 27

## 県民の歯周病罹患率 年代別

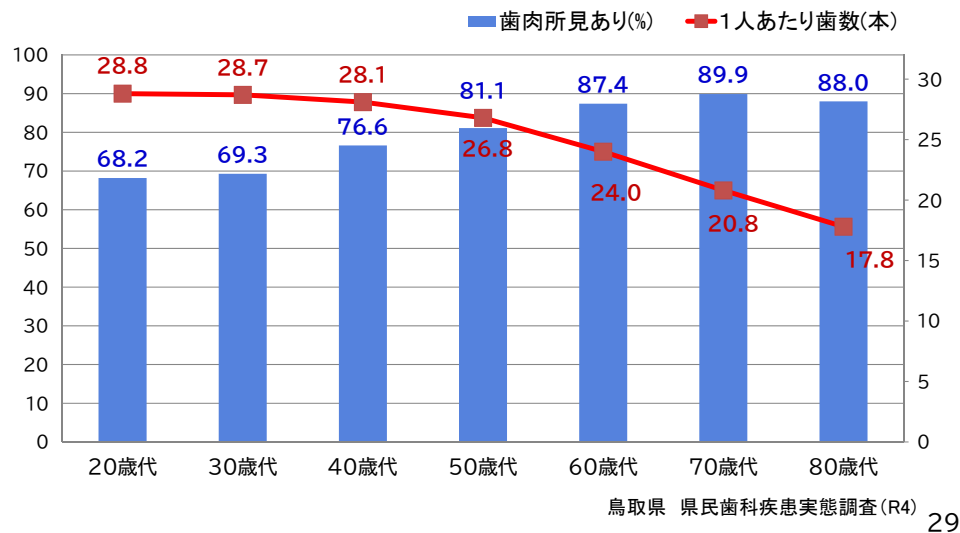
- 20歳代ですでに約7割が歯周病に罹患
  - 加齢とともに歯周病の割合が増加
- 歯周病にかかっている割合 (%) (R4 県民)



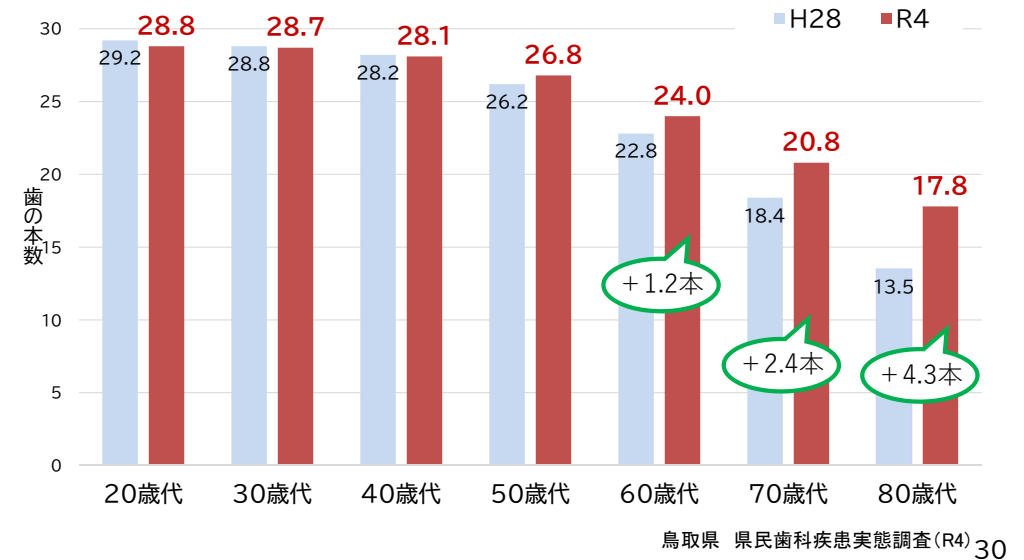
鳥取県 県民歯科疾患実態調査 (R4) 28

## 年代別 歯周病罹患率と歯の本数

- ・加齢とともに歯周病の割合が増加
- ・歯周病の増加とともに、50歳以降に歯の喪失が始まり加速



## 県民 一人あたりの歯の本数



## かむ力と歯の本数 (DMF歯数) の関係

- ・何でもかめる人は、一人あたりの歯の本数が多い(26.9本)
- ・あまりかめない人は、歯の本数が少ない結果であった(喪失歯が多い)(19.8本)

